

施設名	鎧堰堤		<p>大正期の様子</p> <p>平成29年6月</p> <p>～滋賀の砂防土木遺産を訪ねてみよう～</p>							
所在地	滋賀県 大津市									
管理者等	滋賀県砂防課									
施設種類・分野	砂防	ダム								
施設概要 (明治期との関連含む)	【構造・材質】 鎧型割石堰堤、両翼土堰堤 【設計・施工】 田邊義三郎 直高6.8m、天端幅4m(内石張幅2.1)、堤長9m									
築造時期	明治中期		時期詳細	明治22年竣工						
関連人物	田邊義三郎(技師、設計者)									
関連企業										
トピックス (特徴的エピソード)	鎧堰堤は田邊義三郎内務技師による階段状の鎧型で、割石はごぼう積み、貯砂量も圧倒的に多く天神川流域では特異な存在である。オランダ堰堤と同様明治22年に完成し、110年間も立派に役割を果たしている瀬田川砂防を代表する堰堤である(滋賀県教育委員会(2000)滋賀県の近代化遺産:滋賀県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書より)。									
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—	
その他 (関連資料、文献)	～滋賀の砂防土木遺産を訪ねてみよう～ 2017年10月16日発行 滋賀県河港・砂防協会 滋賀県土木交通部砂防課									
管理者等のHP (URL等)	滋賀県砂防課HP http://www.pref.shiga.lg.jp/h/sabo/07_enka/									